

ひとことめし
一言主

浅見 宣義

「病院再編で長浜を健康医療都市に」
ピンチをチャンスに

病院再編は、長浜を健康医療都市として発展させるための布石です。

大学から「このままでは長浜に医師を送り続けられない」と言われているピンチをチャンスに変え、長浜にある医療資源、また現在の建物を活用し、病床数が1000近くの滋賀県一の病院を作ろうと、私は現在、行政、医療関係者などと奔走しています。これができるば、長浜市民のみならず、周辺市町の人々も利用されるでしょう。症例も多く、かつ人事・研修が統一に行われ、医療従事者にも魅力の病院となり、医療水準も現在以上になります。これは、市民の皆さんの大きな誇りとなります。

病院再編のキーワード

これを具体的に進めるのは、正直なところ、本当に難しい問題です。進めるには、「医師の確保」のほか、「診療科の再編と病院経営の一体性」「持続的経営」「働く人たちの利益の保護」の4つのキーワードをクリア

しなければなりません。

特に診療科の再編は、病院の収益に直結するので非常に難しい問題となっております。そこで一体とした経営を実現し、再編を進めることが重要です。また、病院再編及び再編後の経営には多額の費用がかかります。人口減、税収減等を考えると、市の財政への影響を踏まえた持続的な経営も不可欠です。そして何より、現在の給与の維持、退職金の扱いなどでの不利益を最小にして、働く人たちが新しい病院で長浜の新しい医療を担っていただけるよう最大限の努力をしなければなりません。

みんなでマグネット病院を

いずれにしましても、患者や医療従事者を磁石のように引き付けるマグネット病院を作り、市民の皆様が安心していただけるよう全力を尽くしてまいります。



▲昨年10月の長浜市あざいお市マラソン

お元気ですか

市立長浜病院
上田 修吾
外科

ERAS術後回復促進プログラム

ERAS術後回復促進プログラム(Enhanced Recovery After Surgery)術後回復促進プログラムが注目されています。これは、手術後の早期退院だけでなく、併存症や体力低下などを外科医師と各医療専門スタッフが手術前に評価し、問題を解決することで外科手術から早期回復をめざすものです。

当院では、令和4年夏から大腸癌手術を対象に、ERAS国際専門機関と共同で新たにERASを開始しました。この要点は、5つあります。①外科・麻酔科医師、手術室・外科看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、歯科医師からなる、患者さんを中心に考える「医療チーム」を構築すること、②手術合併症につながりうる問題点を早期から解決すること、③エビデンスに基づき最新の手術前後の管理方法、④よりストレスの少ない手術前後の管理方法、⑤チーム内で情報を共有し、さら

に良い手術前後の治療管理をめざすことです。

具体的には、まず、患者さんに入院前にパンフレットを用いて大腸手術前後の概略を分かりやすく説明し、手術への不安を軽減します。手術前には、手術合併症のリスクを減らすため、必ず禁煙・禁酒をしていただきます。栄養不足の人には手術前から栄養剤内服などを指導します。他にも、手術後に寝たきりにならないように、手術前からリハビリテーションを行います。また、手術当日朝まで炭水化物飲料を飲んでいただくことで、絶食時間を短くし、手術前後の脱水と代謝悪化を予防します。手術では、従来通り手術創が小さく、患者さんに負担の少ない「腹腔鏡下大腸切除術」を実施し、患者さんが感じる手術創の痛みや吐き気を軽減させます。手術後は、早期から栄養剤を内服いただくことで、点滴を早期に終了し食事を再開します。

このように、ERASを開始し、患者さんにより安心して外科手術を受けていただき、手術後は合併症なく元気で早期に退院いただけるよう、全職員で取り組んでいます。

問市立長浜病院

☎68・23000(代表)

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。